

# 竹馬会情報紙

ホームページアドレス  
<http://chikubakai.com>

# はずみ

## CHIKUBAKAI



竹馬会キャラクター  
なべムシ君

### 訃報

#### 藤本商店の藤本社長が 逝去されました



竹馬会が、福島ひまわり里親プロジェクトに取組むきっかけとなった、藤本商店の藤本照雅社長が9月24日に逝去されました。

当日の朝、気分がすべれないと奥さんの車で病院に行ったそうですが、その日の夕方には帰らぬ人となりました。あまりにも突然の死に信じられませんでした。62歳でした。

社長の意思を受け継いで、竹馬会がひまわりプロジェクトを続けることが何よりの供養になると思います。

ご冥福をお祈りいたします。 合掌

今年で最後の泥田バレーの参加賞をお米にしようと、藤本社長に相談したところ「どんぐらいるんか? どうせお金はないんじゃない?」「わかった!」と750キロ(12俵半)のお米を格安で提供してくださいました。しかも、商品化を計画していたコシヒカリの「官兵衛米」を泥田バレーの為に間に合わせてくれたのです。

「何でも言えよ」と、竹馬会の活動を理解していただき、協力してくださいさる偉大な方でした。残念でなりません。

### 立派な種が取れました

今年も、猛暑のあとに大雨が続き、種の収穫作業を皆さんと一緒にすることが出来ず、各自で少しずつ、家で乾燥、種取りなどの作業をしてもらいました。9月になり、その種を事務局まで届けてもらい、かなりの量になりました。

集まった種は、1カ月以上掛けて、何度も何度も篩にかけ、「ゴミをつまみ出し、最後は殆ど一粒ずつ選別するくらいまでになりました。

その結果、これまでで最高の量の種にすることができました。米の30キロ袋で2袋分はありそうです。

このひまわりプロジェクトには全国で10万人以上の人たちが関わっていますが、半田代表の話では、竹馬会の規模が日本一だろうということですが、送られてくる種の量は何トンにもなりますが、中には、届いたときにすでに腐っているものや、カビが生えているものもあるそうです。

福島では、今でも何十万人という人たちが故郷を失い、未だに仮設住宅での生活を余儀なくされています。将来の見通しは全く立っていません。そんな中でも、福島県内に希望のひまわりを咲かせる輪が広がっています。

そんな福島の人たちが、送られてきた種の選別で苦労しなくていいように、竹馬会は良質の種を届けようではありませんが、その気持ちは、必ず福島の方々にも伝わるはず。今年3月、現地に行ってみてつくづくそう感じました。



### ひまわりも来年4年目 福島との絆はさらに強く!

ひまわりの収穫が終わった畑も来年に備えて相良伸司さんが鋤いてくれました。2週間ほどしたら、落ちた種があちらこちらに芽を出しています。



### 4回目の河川敷の草刈り 彼岸花は猛暑の影響?

9月15日、今年4回目の河川敷の草刈りを行いました。彼岸花の部分だけ10日程前に切ったいたのですが、今年の彼岸花は異常に少なかったです。花壇は、木下夫妻が草取りをしてくれました。



サルビアも猛暑の影響か、ほぼ全滅でした。

### 今後の予定

#### ■河川敷の草刈り

今のところ日にちは決定していませんが、今年最後の草刈りは国交省の委託作業になります。伸び具合を見ながら決定します。

#### ■ひまわりの杖作り

大分合同新聞がひまわりの杖作りの様子取材に来ます。当初の予定より少なくなりましたが、試作品ということで数十本を制作したいと思います。乾燥具合を見ながら決定します。

※なるべくなら同じ日の午前中に出来ればと思います。

### コスモス園情報

コスモス園の2回目の草刈りが9月22日に行われました。

心配された開花も丈は5、60cmのまま10月初旬には2分咲き程になっていました。

ただ、佐知のアート作品は種類によって発芽の悪いものがあり微妙です。

